

JCA会員全員に意識調査を実施 会員の意見を今後の事業に反映させる



JCAでは寄附行為の改定によって4月より賛助会員の募集をパンフレット等を作成して行なってきましたが、ニュースでも発表しているとおり11月までに全国で6,300名のサイクリストの方々が会員として登録されています。

しかし、全国の自転車愛好者や一部会員の方の中には、まだまだJCAが開催している行事や内容について知らない方が多数いるのが現状です。

そこでJCAでは、現在の全会員に対して、下記のようなアンケート調査を実施することにしました。調査用紙は1月中旬に会員の皆さんの手元に届く予定ですので、ぜひ回答をしていただき、1月末日までにJCAに送り返していただきたいと思ひます。

JCAに送っていただいた回答は、今後の事業活動や会員に対してのメリット等を考える上で参考にしたいと思ひますので、ご協力

下さるようお願いいたします。

〔質問事項〕

1. JCAに対しどんな事業を望みますか。
2. 特別イベントまたはフェスティバルとしてどのようなものを望みますか。
3. サイクリングの情報（コース、行事、海外事情、自転車、部品等）に関して得たいと思われることは。
4. 現行JCAの任意総合保障制度（保険）の改善（強制）について。
5. 現在JCAが実施している事業のあり方について。
6. 会員の拡大策について。
7. 会員になってよかったと思われることは。
8. 会員としてどんなメリットを望みますか。
9. 支部活動の拡充について。
10. 上記以外の提案、意見等。

※次の質問については該当者のみご回答下さい。

11. 高校生の会員の方にお伺いしますが、あなたは通学にどのような車種の自転車を利用されていますか。
(1. ミニサイクル・2. 軽快車・3. スポーツ車)
12. その理由は。
13. 未会員の高校生がご家族におられる会員の方にお伺いしますが、通学にはどのような車種の自転車を使用されておられますか。
(1. ミニサイクル・2. 軽快車・3. スポーツ車)
14. その理由は。

昭和61年度

全国ラリー・ブロックラリー

の日程決まる!

昭和61年の全国ラリーおよびブロックラリーの日程が決まりましたのでお知らせします。

- 全国ラリー 8月2～3日 (福井)
- ブロックラリー
 - 北海道 7月26～27日 (士別)
 - 東北 7月26～27日 (青森)
 - 関東甲信越 9月21～22日 (神奈川)
 - 中部 9月6～7日 (石川)
 - 近畿 11月2～3日 (京都)
 - 中四国 11月2～3日 (広島)
 - 九州 11月1～2日 (熊本)
- 全国レク大会 11月24～26日 (沖縄)
- 自然公園大会 7月下旬 (滋賀)

61年度のJCA会員証と

JCA総合保障制度加入のご案内

昭和61年(1986年)のJCA会員証は、従来使用していました赤色のカードが緑色に変わり、新しくJCA総合保障(任意)の欄を設けましたので自分がどのタイプの保障に入っているかすぐわかるようになりました。

会員証は1月末には出来上がり、各支部に発送しますので、更新される方は早めに手続きを済ませて下さい。

なお、JCA総合保障制度については、交通量の増加にともない、益々事故の大型化、多発化が目立っている反面、加入者が減少している傾向にあります。JCAでは、自転車塔乗中の傷害・賠償事故から会員各位を保護するためこの保障制度を設けており、今年の4月からは傷害保障内容に通院補償も追加するとともに、高額補償を希望する方々のため、保障金額の最高限度額を556万円(Dプラン)と大幅に増額し内容を拡充しています。

現在JCA会員でまだこの保障制度に加入されていない方は是非加入されるようにおすすめます。

<昭和60年度>

全国月別会員証発行状況

県名	10月～11月	
	当月	累計
北海道	58	774
青森		115
秋田		54
山形		115
岩手		67
宮城		112
福島	2	235
群馬		161
栃木		188
茨城	10	90
埼玉		100
千葉	1	66
東京都		279
神奈川県		115
山梨県		56
長野県		3
新潟県		148
静岡県		150
愛知県	10	200
岐阜県	70	70
三重県	94	94
富山県	29	54
石川県		28
福井県		93
滋賀県	6	63
大分県	2	397
奈良県		37
和歌山県	100	100
兵庫県		110
岡山県		291
広島県		26
山口県		143
鳥取県	56	56
島根県		252
徳島県	2	144
香川県		127
愛媛県	27	174
高知県		42
福岡県	1	309
佐賀県		72
長門県		30
熊本県		316
大分県		102
宮崎県	7	71
鹿児島県	67	67
計	472	6,296

フランチェスコ・モゼール選手

日本のサイクリストと走る

スポーツ用品を扱っている美津濃(株)は、アワーレコード保持者であり、これまで数々のサイクリスを制覇したイタリアの国民的英雄、フランチェスコ・モゼール選手が来日したのを機に、外務省、イタリア大使館の協力を得て(フランチェスコ・モゼール来日歓迎委員会)を設立、12月8日、日・伊のスポーツ交流と親善、日本におけるサイクリススポーツの普及、振興を目的に、「フランチェスコ・モゼール選手とサイクリングを楽しむ集い」を開催した。

当日はあいにく、どんよりとした空模様であったが、同選手がアワーレコードを樹立した時に使用した自転車(モゼールモデル、815万円)を披露したり、一般のファンとサイクリングを楽しんだほか、デモンストレーション走行、サイン会などが行なわれた。

1986年 世界選手権

アメリカでの開催日程決まる

1986年世界選手権の日程とコースが発表された。トラックレースは8月28日から9月1日までの5日間、ロードレースは9月4日、6日、7日の3日間コロラド州コロラドスプリングスで開催される。

個人ロードはアメリカ空軍アカデミースクールの敷地内で行なわれる。1周15.4kmだが長い直線コース、急カーブそして急な下り坂のレイアウトと標高2200mの高地が、かなり選手を苦しめることだろう。

一方、トラックレースの会場になるベロドロームは、ロードレースの会場から30km離れたメモリアルパークにあるセブンイレブンベロドロームで行なわれる。アメリカで最も設備の整ったベロドロームと言われ、世界選手

権でも記録の更新が期待される。もちろん、中野浩一選手の10連勝への期待も大きくクロージアアップされている。

(サンツアープロショップニュースより)

〈第2回〉

全日本トライアスロン宮古島大会

4月27日に開催決定!!

今年の4月、島全体がトライアスロンに興奮した宮古島。その宮古島で第2回全日本トライアスロン宮古島大会が開催される。

今回も島全体を使用して開催されるが、人気がある大会だけに定員はすぐオーバーする可能性が大きい。参加したい方はすぐ下記に連絡を。

日 時：昭和61年4月27日(日)

午前8時スタート、午後11時閉鎖

種 目：水泳3km、自転車136km、ランニング42.195km。

制限時間：水泳2時間半、自転車7時間、ランニング5時間半。

定 員：350名(増える可能性有)

日 程：

4月24・25日 下見及び登録

25日 午後4時30分～6時、競技説明会(宮古工業高校)

6時30分～8時30分、開会式、

26日 自転車検査及び預託

27日 午前8時スタート、午後11時終了

28日 表彰式、パーティー

参加料：10,000円

締 切：1月31日。

参加者には参加許可証を

2月15日頃発送予定。

申し込み、問い合わせ先：

〒906 沖縄県平良市宇西里5-1

平良市民会館4F

宮古トライアスロン実行委員会

TEL. 09807-3-1046

'86 サイクルショー

大阪で4月23日から30日まで開催

「'86 サイクルショー」は、(財)自転車産業振興協会、(社)日本自転車工業会の共催のもと、来る4月23日(水)～30日(水)までの8日間の会期で、第17回大阪国際見本市1号館で開催されることになった。

〔開催目的〕

わが国各階層に対する自転車利用の関心を高めて需要の拡大をはかるとともに、国際間の商取引の増進、情報及び技術の交流を深め、もって自転車産業の発展と国際親善に寄与することを目的とする。

〔会期〕

昭和61年4月23日～30日の8日間。

(午前10時～午後5時30分)

〔会場構成〕

ヤングからファミリーまで、幅広いスポーツ・健康志向によるアウトドアライフへの関心が高まる中で、テーマ車種を中心に、生活をより楽しく、より豊かにする自転車の今日の魅力を訴求し、次の展示を行う。

- ①一般スポーツ車(ロードレーサー、トライアスロン、スポルティーフ、キャンピング)
- ②オフロード(一輪車、BMX、BTR、MTB等)
- ③シティサイクル
- ④エクササイザー(但し自転車型)
- ⑤ハンドメイド(トラックレーサー及び各種オーダーメイド車等)

新書案内

スポーツ・サイクリングのすべて…

スタート バイシクル

プロダクツM著 B6版 222頁 ¥980 日刊スポーツ出版社発行
ツール・ド・フランスやジロ・デ・イタリアなどのレースカメラマンの三宅寛氏が代表のプロダクツM著の「スタートバイシクル」が出版された。プロダクツMは実際にレース

で走るトップ・プレーヤーを中心にした「スポーツ創造集団」で、世界中の自転車レースの情報や世界のレースを走った選手達による実践的な走りのノウハウを一般に提供していく集団である。

本の内容は走行テクニック、メインテナンス、スポーツ工学などサイクルスポーツ全般に関して詳しく写真入りで説明されており、ぜひおすすめしたい一冊である。

晩秋の甲府盆地を走る

11月30日・12月1日に開催



サイクリング愛好会による、今年の納会を兼ねた合同サイクリングが山梨県で、1泊2日の日程にて実施された。

この愛好会は、日自振の加藤昭氏の呼びかけで、自転車関係団体等でサイクリングの愛好者なら唯れでもが自由に参加できる会として発足された愛好会で回を重ねる毎に参加者もふえ、今回も日自振、競輪学校、日競選、全輪協、自普協、NTT、JCA(鶴沢、有隅、前田)から、36名が参加、山梨県の境川自転車競技場に集合、来年国体の自転車ロードのコースの一部になる広域農道を通り、武田信玄の菩提寺である恵林寺に詣で、甲府市街地を走りぬけ、全員事故もなく60キロを走破し、同夜は塩部温泉にて親睦を図り一日の疲れをいやした。

翌日は、国体の自転車競技の会場となる境川競技場での試走、1000メートルのタイムトライアル等を行い、次回行事の参加を約し甲州の合同サイクリングを楽しんだ。